

110th

立命館創始140年・学園創立110周年記念

2010年11月1日[月]～26日[金]

9時30分～17時[土(20日は開館)・日・祝は休館]

立命館大学 アート・リサーチセンター1階展示室

<http://www.dh-jac.net/db8/hana/>

[主催] 文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」

(立命館大学、立命館大学アート・リサーチセンター)

[企画] 文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」

(立命館大学) 日本文化研究班・赤間研究室・「俳諧資料の系統的研究」プロジェクト



DH-JAC



ARTRESEARCHCENTER



“花 京都の芭蕉と 養 芭蕉”

『花供養』Webサイト開始・櫻井コレクションWeb公開記念展覧会



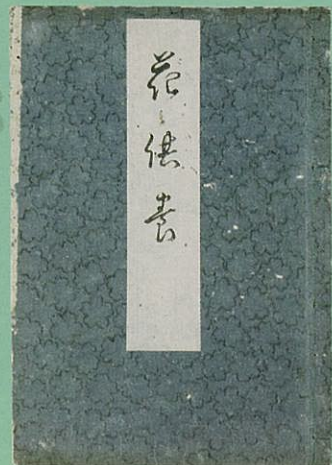
『花供養』表紙 寛政元年(櫻井文庫)



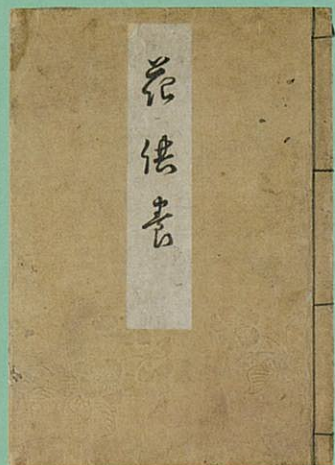
『花供養』表紙 享和元年(櫻井文庫)



『花供養』表紙 弘化2年(櫻井文庫)



『花供養』表紙 文政4年(櫻井文庫)



『花供養』表紙 文政10年(櫻井文庫)

特別公開
京都東山
芭蕉堂の公開
(円山音楽堂南側)
11月19日(金)・21日(日)
2日間のみ「10時30分～15時」

花供養と“京都の芭蕉”

アート・リサーチセンターは、21世紀 COE、グローバルCOEと連続し、関西で唯一の文化芸術系研究拠点として活動を続けています。本展覧会の企画を担当した京都俳諧研究会は、その中でもユニークな研究プロジェクトとしてじっくりと研究成果を蓄積してきました。

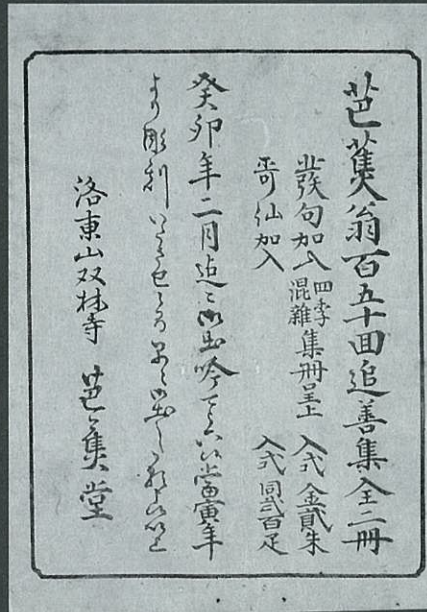
こうした研究活動を背景に、光栄にも俳諧研究に大きな足跡を残された故櫻井武次郎先生の御蔵書もアート・リサーチセンターがお引き受けすることになりました。櫻井先生はまさに『花供養』の意義に逸早くお気づきになった先学のお一人でした。

現在、櫻井コレクションは、Webを利用して世界に向けた全資料の全頁公開を急ピッチで進めています。関西や日本国内はもちろんのこと、世界で櫻井文庫が活用されることを希ってやみません。

アート・リサーチセンター長 赤間 亮



京都東山 芭蕉堂「再撰花洛名勝図会」(立命館大学図書館西園寺文庫)



「丹後俳人の摺物注文書輸帖込帖」(舞鶴市郷土資料館糸井文庫)

近世後期の京都の俳人たちは、各所に芭蕉を顕彰する芭蕉堂・芭蕉庵・芭蕉句碑を設けた。なかでも東山の芭蕉堂は、天明から明治初年の長期に亘って、全国の俳人ネットワークを組織した花供養会を催し、句集『花供養』を刊行した。この『花供養』の全貌を明らかにし、京都の芭蕉顕彰事業を紹介する。

シンポジウム

2010年11月20日[土]

13時～16時 [展示会場は9時30分～17時]

立命館大学 アート・リサーチセンター多目的ルーム

■プログラム

- 「京都の芭蕉さん ―花供養会と芭蕉塚―」 竹内千代子(聖トマス大学准教授)
- 「花供養と京都俳壇」 松本節子(元福井大学教授)
- 「花供養の書肆 勝田善助」 岸本悠子(立命館大学大学院博士課程)
- 「芭蕉堂と花供養」 小林 孔(大阪城南女子短期大学教授)

- Web紹介 ――― 赤間 亮(立命館大学文学部教授)
- 座談会司会・進行 ― 赤間 亮
- パネリスト ――― 竹内千代子・松本節子・岸本悠子・小林 孔

特別公開

京都東山芭蕉堂の公開 (円山音楽堂南側)

2010年11月19日[金]・21日[日]
10時30分～15時 **2日間のみ**

[交通機関]●市バス「祇園」下車徒歩7分 ●京阪「祇園四条」下車徒歩13分 ●阪急「河原町」下車徒歩16分



[主催]

文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(立命館大学)、立命館大学アート・リサーチセンター

[企画]

文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(立命館大学) 日本文化研究班・赤間研究室・「俳諧資料の系統的研究」プロジェクト

[問合せ先]

立命館大学人文社会リサーチオフィス内 アート・リサーチセンター事務局
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL 075-465-8476 (平日9時～17時30分) arc-jimu@arc.ritsumeiji.ac.jp

